

様式第3号 (第59条の2関係)

指定緊急作業等従事者等に係る線量等管理実施状況報告書

フリガナ		生年月日	年 月 日	個人番号		
氏名		性別	男・女	指定緊急作業等従事以前の累積被ばく線量		
住所	電話 ()					
指定緊急作業等時の所属事業場の名称						
指定緊急作業等時の所属事業場の所在地	電話 ()					
現在の所属事業場の名称						
現在の所属事業場の所在地	電話 ()					
対象期間	年 月 分	通常作業・緊急作業の区別	通常作業・緊急作業			
対象月分 累積線量	外部被ばく 実効線量	(mSv)	作業の場所			
	眼の水晶体の 等価線量	(mSv)				
	皮膚の 等価線量	(mSv)				
預託線量	(mSv)					
内部被ばく 測定結果	測定日		作業の内容			
	摂取日					
	主要核種ごとの 測定値	核種				
		測定値				(Bq)
	核種	核種				
		測定値				(Bq)
核種	核種					
	測定値	(Bq)				

平成 年 月 日

備考

- 1 外国人の場合、「氏名」の欄は、漢字表記を持たない外国人の場合はローマ字表記で記入するとともに、「住所」の欄には、現住所のほか、母国における住所及び国籍を記入すること。
- 2 「個人番号」の欄は、事業者が指定緊急作業等従事者等の線量等の管理を行うため、これらの者に対し、個人を識別するために番号を付与した場合に記入すること。
- 3 「住所」、「指定緊急作業等時の所属事業場の名称」、「指定緊急作業等時の所属事業場の所在地」、「現在の所属事業場の名称」及び「現在の所属事業場の所在地」の欄は、前回の報告から変更があった場合に記入すること。
- 4 「対象期間」の欄は、指定緊急作業等従事者等が、
 - (1) 緊急作業に従事する間は、1か月分を対象期間とすること。（提出は、当該対象期間とする月の翌々月末日まで）
 - (2) 放射線業務（緊急作業を除く。）に従事する間は、3か月分を対象期間とし、「月分」の欄に、その期間が分かるよう記入すること。（提出は、当該対象期間の満了の月の翌々月末日まで）
- 5 「作業の場所」及び「作業の内容」の欄は、指定緊急作業等従事者等が、
 - (1) 緊急作業に従事する間は、当該作業に従事した場所及び作業の内容を記入すること。
 - (2) 放射線業務（緊急作業を除く。）に従事する間は、「作業の場所」の欄に、当該作業に従事した原子力施設等の名称を記入すること。
- 6 外部被ばくの実効線量の日々の値を把握している場合には、報告対象月分の1日ごとの被ばく線量について、測定開始日時、測定終了日時及びその間の実効線量の一覧を添付すること。